

## 乳製品需給等情報交換会議（主な意見）

日時：平成28年11月30日（水）13:30～14:30

場所：（独）農畜産業振興機構 北館6階会議室

意見：

（全国消費者団体連絡会）

- ・小売店ではバターが潤沢にあり、これまではなかったポンドバターも見かける。逼迫感は薄れていると実感している。
- ・バターの価格について、酪農家を支えていくことは理解しているが、もう少し市場原理が働くことを期待している。

（ホクレン農業協同組合連合会）

- ・台風や10月下旬以降の寒さと雪の影響により、北海道の生乳生産は、Jミルクの需給見通しを下回っているが、都府県は上回っており、全体として、ほぼJミルクの需給見通しどおりとなっている。
- ・飼料については、引き続き関係者一体となり、必要量の確保に取り組んでいるところ。

（中央酪農会議）

- ・都府県の生乳生産、特に東北や関東では、Jミルクの需給見通しを上回っている。ほとんどのバターは北海道で作られるが、都府県の生乳生産が減少しなければ、北海道から都府県に回す量が減り、バターの生産余力が生じる。

（卸売業者）

- ・業務用、家庭用のバターともに前年度を上回る水準で安定的に供給され、需給は落ち着いている。
- ・今後ともバターの安定供給の継続を期待している。

（新日本スーパーマーケット協会）

- ・欠品等の発生はなく、安定的に供給されている。問題は生じていない。

(日本洋菓子協会連合会)

- この数年、この時期になるとバターに関する問い合わせが多くあったが、今年はほとんどない。また、従来はクリスマス時期にバターの需要が増える傾向にあったが、最近は年明けのバレンタインやホワイトデーまで繁忙期が続くため、バターの動向については引き続き注視していきたい。

(全国菓子工業組合連合会)

- 量的には落ち着いて供給されているが、需要者の希望に応じて、輸入バターから国産バターにシフトできるよう、国産バターの生産に力を入れてほしい。
- バターの価格は高いままなので、直近の輸入バターの落札価格の低下が、流通価格に反映されることを期待している。

(全日本洋菓子工業会)

- 不足しているとの声はなく、バターの調達において問題は発生していない。
- 今後とも安定供給が続くよう、本会議を引き続き開催してほしい。

(日本パン工業会)

- 国産バターを含め必要量が確保できている。
- 今後とも、国産バターが不足しないよう安定供給を継続してほしい。

(日本乳業協会)

- 11月もしっかりとした供給ができている。しかし、家庭用バターの引き合いが弱くなってきている。
- 「おひとり様1点限り」の表示を外すよう小売店に働きかけてはいるが、各店舗の販売戦略もあるので、なかなか難しい。